

新刊のご案内

2024年12月20日出荷開始

女も男も No.144 2024年 秋・冬号

アンペイド・ケアワーク

——学校ではどのように取り上げてきたか

アンペイド・ケアワーク
——学校ではどのように取り上げてきたか女も男も
No.144
秋・冬号PART ① アンペイドワークとケア
PART ② 学校教育でアンペイド・ケアワークを取り上げる
PART ③ 家事・介護労働者、ベビーシッターのいま

総務省のデータ(2022年)では、未就学児の子どもを持つ世帯の夫と妻の1日あたりのアンペイド・ケアワークに費やす時間は、夫は1時間54分、妻は7時間28分。近年、男性のアンペイドワーク時間が増加しているものの、依然として女性に大きく偏っています。本号では、「人間の必要」、生活時間、年金制度やペイドワークとの関係などの視点から、アンペイドワークのジェンダー不平等がもたらす問題点を探ります。とりわけ、学校ではアンペイドワークをどのように取り上げてきたのか。総合、社会科、日本語、家庭科などでの授業実践を紹介します。

女も男も編集委員会 編 / B5判・96ページ・並製 / 定価:本体1,800円+税 / ISBN978-4-8450-0987-9

主な内容

PART 1 アンペイドワークとケア

アンペイドワーク再考

——人間の必要から考える

藤原 千沙 (法政大学大原社会問題研究所教授)

そろそろ「イクメン」やめませんか

——子育てというケアとイクメンの男らしさ

巽 真理子 (大阪公立大学客員准教授)

生活時間からみた子育て世代の生活

二方 龍紀 (常磐大学人間科学部現代社会学科准教授)

年金制度と無償のケア労働の評価

丸山 桂 (上智大学総合人間科学部教授)

PART 2 学校教育でアンペイド・ケアワークを取り上げる

【座談会】「労働教育とジェンダー」のとりくみの中で

古田 典子 (両性研助言者・弁護士)

久木田 絹代 (元中学校教員)

菊池 ゆかり (日教組女性部長)

〈教育実践①〉家の仕事について考えよう (学級活動、小学校)

藤森 富美子 (山梨県公立小学校教員)

〈教育実践②〉性別に関係なく、すべての人が

安心して働くために (総合、中学校)

田中 節子 (滋賀県公立中学校教員)

〈教育実践③〉アンペイドワークを負担すると (社会科、中学校)

升野 伸子 (昭和女子大学教授)

〈教育実践④〉母の労働を綴る (日本語、中学校)

久木田 絹代 (元公立中学校教員)

〈教育実践⑤〉「生活時間」を教材として (家庭科、中学校)

中山 節子 (千葉大学教育学部准教授)

PART 3 家事・介護労働者、ベビーシッターのいま

家事労働者に初の過労死認定

——「定額使い放題労働」に反転の兆し

竹信 三恵子 (ジャーナリスト)

●アンペイドワーク、ケアについて より知るためのブックガイド

ご注文
方法ご希望の方法に
チェック
してください

直接取引 FAX 0120-999-968

(返品可/トランスビュー取引代行)

1冊からお気軽にご注文ください。

直取引代行
トランスビュー

BookCellar



取次ルート FAX 03-3288-5577 (労働教育センター)

(返品可/日販・トーハン・楽天BN・中央社・日教販・大学図書)

貴店名(番線印)

注文数

女も男も No.144

アンペイド・ケアワーク

冊

——学校ではどのように取り上げてきたか

ご担当者

定価:本体1,800円+税 B5判・96ページ・並製

様

ISBN978-4-8450-0987-9